

加納 虹輝

坂本 圭右

第72回 全日本フェンシング選手権 (団体戦)

男子エペ団体 46年ぶり2度目

3連覇



決勝、早稲田大学選手を冷静に対応する坂本3尉 (右)

第72回全日本フェンシング選手権大会団体戦は、令和元年12月20日(金)鹿児島県垂水市で行われた。自衛隊体育学校からは男子エペ競技に近代五種班、坂本圭右3等陸尉、山田優3等陸尉、伊藤心2等陸曹、桑原慶斗3等海曹の4名が出場した。

フェンシング団体戦は1チーム4名(リザーブ1名含む)で3対3の9ラウンド行われる。試合は1ラウンド3分・5本勝負で、9ラウンド実施し合計45本先取、または9ラウンド目までの合計でリードしたチームの勝利となる。

団体優勝 通算8回目

エペ競技には全23チームが出場し、昨年優勝の体育学校はトーナメント#1シードから始まり、神戸クラブに45対20、準々決勝は明治大学に45対25、準決勝は日本体育大学に45対26でそれぞれ勝利し、危なげなく決勝に駒を進めた。

迎えた決勝は、昨年度同大会3位で、苦戦を強いられた早稲田大学との対戦となった。第1ラウンド、第2ラウンドとなかなか自分たちのペースに持ち込めず、早稲田大学

リードの8対6となった。しかし第3ラウンド、坂本3尉は早稲田大学の安選手に対し、冷静に対応し、2点差を12対12の同点として、次の伊藤2曹に託した。第4ラウンド、伊藤2曹は1点リードをつけ、第5ラウンドの山田3尉に繋げた。山田3尉はこのラウンドで最大ポイントをあげ、25対17と大きくリードして坂本3尉へとバトンタッチした。受けた坂本3尉は巻き返しを図る加納選手との対戦となった。ナショナルチームに選出されランキングでも格上である加納選手に対し坂本3尉は、1歩も引くことなく5本先取し勝利。その勢いそのままラウンドを進め、最終的に45対35で勝利した。

体育学校は今回で通算8回目の優勝、2度目の3連覇を達成した。試合後、村上監督は「団体戦3連覇出来た事は本当に嬉しい。決勝は危ないところもあったが、その時の流れを変えたのは坂本3尉。坂本3尉はチームの精神的支柱で彼が勝つ事によって他の選手の動きも良くなった。本当に良い仕事をしてくれた。今年最後を優秀の美で飾れて良かった。来年はさらに良い結果が出る飛躍の年としたい。」と語った。

体育学校フェンシング選手は1月から世界各地で行われるワールドカップを転戦する。ここでポイントを確実に積み重ね、ポイントランキング上位を目指し、来たる東京オリンピック出場を狙う。



3連覇達成を喜ぶ近代五種班

前列：左から桑原3曹・伊藤2曹・宮ヶ原前監督・坂本3尉・山田3尉 後列：左から城コーチ・村上監督



3等陸尉 さかもと けいすけ
坂本圭右
エペ国内
ランキング
5位



3等陸尉 やまだ まさる
山田優
エペ国内
ランキング
3位



2等陸曹 いとう いのち
伊藤心
エペ国内
ランキング
7位



3等海曹 くわはら けいいち
桑原慶斗
近代五種
選手

フェンシング競技の種類

エペ

剣先で突くだけの剣術
攻撃有効面は全身
(頭からつま先まで)
同時突きは両者にポイント



Epee

近代五種競技で用いられている競技

フルーレ

剣先で突くだけの剣術
攻撃有効面は頭・両腕・両足
を除いた胴体部分
攻撃有効面は金属繊維でできたジャケットを着用し、競技を行う。



Fleuret

サーブル

切りが主体、突きも有効
攻撃有効面は腰から上腕・頭を含む



Sabre

PHOTO GALLERY

自衛隊体育学校の活躍・活動を Web サイト、インスタグラムでご覧ください。

http://www.mod.go.jp/gsd/phy_s/index.html

自衛隊体育学校 検索



Web

Instagram